

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室
		実施期間	S33～	E-mail	choiu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<p>【現 状】 希少鳥獣等保護が必要な鳥獣が存在する一方、野生鳥獣による農林業等への被害は10年連続して減少しているものの、依然として深刻な状態である。（H29年度 農林業被害額：8億3千6百万円）</p> <p>【目指す姿】 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。</p> <p>【実施内容】 ・野生鳥獣総合管理（生息調査、計画策定、捕獲支援） ・狩猟の適正化（狩猟免許、登録） など</p>																																																																							
	<p>指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">H29年度</th> <th rowspan="2">H30年度</th> <th rowspan="2">R1年度</th> <th rowspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">達成状況</th> <th rowspan="7">事業 コス ト</th> <th colspan="2">区分(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>前年度繰越</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>現計予算</td> <td>260,960</td> <td>407,471</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計(A)</td> <td>260,960</td> <td>407,471</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>うち一般財源</td> <td>73,435</td> <td>178,402</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>決 算 額(B)</td> <td>236,804</td> <td>363,310</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>職員数(人)</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	区分(単位:千円)		H30年度	R1年度								前年度繰越	0	0								現計予算	260,960	407,471								合計(A)	260,960	407,471								うち一般財源	73,435	178,402								決 算 額(B)	236,804	363,310								職員数(人)	7
No	成果指標									H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	区分(単位:千円)																																																								
		H30年度	R1年度																																																																					
							前年度繰越	0		0																																																														
							現計予算	260,960		407,471																																																														
							合計(A)	260,960		407,471																																																														
							うち一般財源	73,435		178,402																																																														
							決 算 額(B)	236,804	363,310																																																															
							職員数(人)	7	7																																																															
成果指標 設定理由	1 野生鳥獣による農林業被害対策について、農政部と連携し総合的効率的に推進するため、過去の被害減少率を参考に前年度マイナス5%を設定																																																																							
達成状況 の分析	ニホンジカ、ニホンザルなど野生鳥獣による農林業被害は、被害対策の推進で、ピーク時に比べて半減（平成30年度8億円弱）し、総合的な対策の成果があがっているが、分布域の拡大がみられる。																																																																							

主な取組	<p>✓ 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策 ・鳥獣の生息域と集落を区分する緩衝帯や移動経路となる河川周辺の整備 ・防護柵の設置や追い払い等、地域の実態に応じた被害防除対策の支援</p>	
	<p>✓ 捕獲技術等を有する技術者の育成 ・高度な捕獲技術を有する者の育成のため、公募により対象者5名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施 ・狩猟や有害鳥獣捕獲に携わる人材を増やすため、ハンター養成学校を開校し、53名が必要な知識、技術講習を受講</p>	
	<p>✓ 特定鳥獣保護管理の推進 ・カモシカに関する生息状況調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において検討を行い、第二種特定鳥獣管理計画を策定 ・次期計画策定の基礎資料とするためのニホンジカ生息状況調査、及びカモシカ個体群動向調査を実施</p>	

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしてい きたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥類による果樹被害など被害防除が困難な被害が増加しつつある。 ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害防除とともに、緩衝帯整備、不要果実の除去等の効果のある生息環境の整備などの、総合的で効果的な対策を地域とともに推進。 ・シカの生息分布の変化等の調査結果や捕獲方法の改善、また、高度な捕獲技術を有する者の育成などによりシカの捕獲を推進。

事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室
-----	------------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	狩猟対策事業費	16,217 千円	16,411 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	免許等事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験を、4日間、延べ11会場で実施 5,688件の狩猟者登録を実施
2	狩猟免許講習実施事業	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験時の講習会を、10日間、延べ14 会場で実施 免許更新時の講習会を、13日間、延べ15会場で実施
3	県営射撃場運営事業	委託	県営射撃場のスキート射撃場のクレー放出機に、経年劣化による不具合 が生じたため改修工事を行った 指定管理者制度導入施設に関するガイドラインにより、射撃場の管理運 営状況について、第三者評価委員会を開催した
4	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新 規取得者を対象に、実技訓練講習を、19日間、960人に対して実施 委託先：(一社)長野県猟友会

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	鳥獣保護管理事業費	31,566 千円	49,581 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	適切な鳥獣保護管理事業を行うため、事業を補助する鳥獣保護管理員を 116名、広域鳥獣保護管理員を10名任用し、10広域に配置 鳥獣保護区等の巡視、鳥獣被害の対策指導等を実施
2	鳥獣保護区等の指定管理	直接	野生鳥獣の生息環境の維持を図るため、案内板等を設置し、機能を維持 鳥獣保護区10箇所、鳥獣保護区特別保護地区1箇所、狩猟鳥獣捕獲禁止 区域3箇所、特定猟具使用禁止区域13箇所の更新等を実施
3	野生鳥獣救護対策事業	直接 委託	希少鳥獣等の保護のため、救護ボランティアの支援及び鳥獣救護用資材 の配備を実施 家きん等への感染予防のため、ウイルス保有状況調査（糞便採取調査1 回）を実施 希少鳥獣等の保全対策を図るため、公設・公営6動物園に傷病鳥獣の救 護を委託し、併せて獣医師、救護ボランティアによる傷病鳥獣救護を実 施 122件（鳥類89件、獣類33件） 委託先：小諸市、松本市、大町市、須坂市、一般社団法人長野市開発公 社、環境文化教育機構株式会社、一般社団法人長野県獣医師会
4	特定鳥獣保護管理事業	直接 委託	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣 保護管理検討委員会2回、専門部会（ツキノワグマ部会1回、カモシカ 部会3回）を開催 野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、ニホンジカ生息状況 等調査を実施し、生息状況、被害発生状況の把握と共に、被害対策の実 施状況等の解析を行った カモシカの個体数調整による捕獲個体のサンプル収集と解析を実施 委託先：(株)環境アセスメントセンター、(一財)自然環境研究セン ター

細事業 No.	細事業名	H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
3	野生鳥獣総合管理対策事業費	189,021 千円	211,128 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策を講じるための経費に対する支援を実施
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証調査を実施 委託先：(一財)自然環境研究センター
3	野生鳥獣保護管理体制整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつ持続的にシカを捕獲する技術を有する捕獲技術者の育成のため、公募により育成対象者5名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施 クマ対策員10名による錯誤放獣等への支援を実施 捕獲活動への参加推進のため、狩猟に関心はあるが実際に狩猟を行うに至らない者等を対象に、地元猟師とのマッチングや実践的な研修を実施 捕獲個体等のサンプル調査による生息数の増減や生息状況の把握、次期保護管理計画策定のためのデータ収集を実施
細事業 No.	細事業名	H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
4	CSF緊急対策事業	千円	86,190 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	野生イノシシ拡散防止事業	直接	CSFに感染した野生イノシシが移動、拡散することを防止するため、地形的に重要な場所を防衛ラインとし、イノシシに対する捕獲圧による封じ込めを実施(防衛ライン：5箇所、11市町村)